別紙3

令和7年度 国分寺市立第九小学校 関係者評価

国分寺市立第九小学校 校長 宇田川 真

教 育 目 標 ○深く考えて行動する子(めあてをもち、自ら学ぶ子) ◎思いやりのある子(心優しく、助け合う子) ○健康で明るい子(命の大切さがわかる、たくましい子) ^{***}○子供の学ぶ意欲と喜びのあふれる学校 ○いじめのない、子供が安心して通える学校 ○子供と地域社会を結ぶ学校

「本師」○学びと体力向上の喜びを与える教師 ○現状把握を的確に行い子供の心に寄り添う教師 ○けじめある指導を適切に行う教師 ○誠意をもって外部応対できる教師

努力指標・成果指標の数値は5段階評定です。

領	中期		H 11 11 1 11	努力指	努力指	成果指	成果指	and state of the s	労力指標・成果指標の数値は5段階評定です。
		短期目標	具体的方策	標(中間)		標(中間)	標(最 終)	確認事項・今後の課題	学校関係者評価記入欄
知育徳育	確かな学力の育成	基礎基本の定着	習熟度指導・個別指導の充 実、ICT機器の積極的活用、 学習習熟度を高めるための 家庭学習の計画的な提示	4		4		 ・少人数での話し合いを通して自分の意見を表出したり、自分の考えをもつて相手に伝えたりすることができるようにする。 ・じて機器の活用やデジタル教科書の活用に慣れると共に、目的に応じた手段の判断力も育みたい。 ・教科担任制の特性を活かし、児童のつまづきに対し、多面的に指導をしていく。 ・UDの授業の充実を図り、学び合い、教え合いのかかわりがもてる授業の計画を立て、授業に取り入れていく。 	-ICT機器を使用して子供たちが楽しく学べる工夫がなされている。今後も教員間での情報共有を行い、学校全体でICT機器を有効に活用してほしい。 ・子供たちは与えられることに慣れてしまい受け身の姿勢が多く見られるため、引き続き子供の自主性を引き出す取り組みを取り入れてほしい。 ・デジタル教科書のページが黒板のスクリーンに映し出されるが、読み取りにくいのではないか。児童と共有するには、元々の2倍大のスクリーンでなければ視覚的な理解の手助けにならないのではないか。 ・算数の授業を見たが、レベル別に分けて取り組んでいるものの、更に生徒のペースに任せて多くの問題に取り組んで自学の力を育てる方が能力の向上に繋がるのではないかと感じた。 ・タブレットを使用した授業では、通信が繋がらないことや、各自のタブレットの機能が作動しないなどの急なトラブルが起きやすいため、サボートできる部分はサボートしたい。 ・先生方の工夫を凝らした授業はいつ見ても関心する。
		読解力の向上に 基づく言語能力 の育成	計画的な読書活動、教員による読み聞かせや一人読書と 本紹介、言語能力育成を視点にした日常的な授業改善	4		3		・国語の図書の時間の着実な取り組みしつつ、朝の時間での読書活動の推進や、長期休業中の読書の 取り組みなどを促進させ、本読む習慣を身に付けさせていきたい。 ・高学年が下学年に読み聞かせを行う活動を継続し、同学年でも係活動などでお互いに読み聞かせが できる活動にも幅を広げていきたい。	・共働き家庭が多く保護者の読み聞かせが難しいので、子ども同士の読み聞かせの機会を設けても良いのではないか。 ・読書量を増やすために、何を諦めるのかそろそろ決断の時期ではないか。 ・デジタル機器の利用機会が溢れている中において、子どもたちが読書をする習慣を小学生のうちから付けることは社会人になってからも能力に直結してくる要素であるため、引き続き取り組んでいく必要があると思う。 ・保護者の読み聞かせが、社会的な要因もあり減っていて残念。地域の協力も得て、他の形でなにか出来るようになると可能性が広がるのではないか。
	豊かな人間性の確立	けじめある学校 生活	計画的な授業の実施、学習 規律の確立、あいさつの励 行、「九小の約束」の徹底	4		3		・話を聞く態度の定着を図り、行動ができている児童を称賛し、見本となる児童を広げていきたい。 ・依然として廊下を走る児童が散見されたので、粘り強い生活指導を行いつつ、代表委員会や各委員会の取り組みからも廊下を歩く意識を向上させていきたい。	 教科担任制になり担任への甘えが減り、自己責任の意識を持ちやすくなったのではないか。 出来ている子を模範とする空気感を創り出すと同時に、そうではない生徒を疎外しない、偏らない空気感も現代においては重要ではないか。 校内で保護者や来客とすれ違うときなど、挨拶がしっかりできていると思う。また、夏の課外授業や校外学習などで普段接している先生方以外の人から指導を受けている際も、話を聞く姿勢が身についていると感じる。
			児童理解のための教員研修、考え、議論する道徳授業の充実、縦割り班活動、「九 小タイム」の充実	4		4		・自分の考えを広げたり深めたりするために「問い返し」をして再考を促し、より自分事として考えられる児童を育んでいきたい。 ・相手の心情を思いやり、相手を尊重したかかわりができる児童を育めるよう、縦割り活動や九小タイムで指導していく。	・勉強とは異なり正解がない場面において、子供たちが自分事として物事を考えるための先生方からの「問い返し」は重要だと思う。
		音楽・芸術活動 の充実	音楽集会の実施、学級における音楽活動、図工作品の展示、日本の伝統文化を活かした活動					・意図的・計画的に諸行事(運動会・展覧会・音楽集会等)に取り組み、行事を通して児童の様々な可能性や感性を引き出し育めるよう取り組んでいく。	 ・夏休みの自由研究が必須ではなくなったが、テーマを与える、表彰するなどで、自ら取り組みたくなるような流れにしてほしいと感じる。 ・「健全育成」に該当するかもしれないが、運動会における諸学年のダンスの振り付けから感じられる表現力が高いと感じた。考案、振り付けに取り組んでくれた先生方に感謝。
健全育成	健康でたくましい心身の育成	食の教育の充実	体験的な食育の実践、栄養 士・調理員との交流	4		4		・引き続き、こくベジの取り組みを地域と連携して行い、豊かな体験学習を進めていく。 ・粘り強い声かけと給食委員会などの働きかけを推進しながら、残菜を減らす取り組みを継続していきたい。	・既存の内容に加えて九ちゃん農園を活用することにより、農業がより身近になりさらに食に対しての意識が高まればと思う。 ・地域としての「こくべジ」の取組と九ちゃん農園も含めた学校の取組が連動していくと良いと思う。ハ学校の先にある中学生生活も見据えると、生徒たちに不評の給食問題がある中で、地域として同問題意識が高まると良いと思う。 ・栄養士の先生もこの取り組みに協力してくれているのがわかる。今後も良好な連携を続けていただくようお願いしたい。 ・充実した給食と食育を考えた授業はリンクしていて素晴らしい。低学年の残食を減らせる工夫を保護者を巻き込んで出来たら良いと感じる。
			運動量の確保を目指す体育 学習、「九小ギネス」〜長縄 跳び、学級での休み時間の 取組、外遊びの推進			4		・休み時間の外遊びを推進し、体育の授業以外での運動量の確保に努めたい。・地域施設の利用も視野に入れながら、暑さ対策や学校施設の老朽化の問題の解決にしていきたい。	・校庭での体育は天候によってどうしても活動が制限されてしまうため、将来的に市民ブールを活用し年間を通して水泳の授業を行えるようにすることを考えてほしい。 ・体育の水泳の時間に関し、暑さや施設の老朽化を踏まえ、外部施設の利用の可能性も含めた検討が必要。 ・九小ギネスも長く続いていており、歴史があるので記録にも重みがある。クラス全員が協力して何かに挑戦しようという、よい教材になっていると思う。
		児童の危機意識 の向上	地域との連携を図る避難訓練、窓下校訓練、定期の安全 指導・朝会・安全点検、危機 回避能力の育成	4		3		 下校指導を行い、安全に登下校ができるよう声かけをし、児童同士でも安全への声かけがし合えるような意識向上を図りたい。 毎月の避難訓練や安全点検を確実に行い、児童の危機回避能力を高めていきたい。 	 ・従来の「災害」とは異なり、年々夏季の気温が高くなってきている。気温そのものが災害とも言える中、暑さから子供たちをどのように守るかが重要な課題になってくる。一つの対策で十分な措置は執り切ることはできず、複合的な対応を関係者間で検討する必要があると思う。 ・登下校時に児童が横に広がって歩行しているのを見かける。引き続き指導をお願いしたい。 ・天災が多い昨今、子どもたちの命を守るために地域でも協力していきたい。
地域連携	保護者・地域と	体験的な学習の充実	コミュニティ・スクールとして、 地域の人材やボランティア、 教材を活用した学習や体験 的学習を取り入れた授業実 践の充実	4		4		・引き続き、地域の方々との連携を密にし、積極的に体験的な学習ができるよう取り組んでいく。 ・地域教材を活用した活動を教科横断的に教育課程に位置付け、授業実践の充実を図りたい。	・部活の指導に地域人材を使用することができないか検討しても良いのではないか。 ・姿見の池の学習については、内容も先生方に継承されることを望む。 ・不登校が社会現象となっている中、如何に子供たちの居場所をつくっていくかという点において、恋ヶ窪公民館移転後の利用も 含めた地域における連携が必要だと思う。 ・体験的な学習においては、九小キャンプ事務局に関わっている保護者として、今後も連携していきたいと思う。 ・体験的な学習においては、九小キャンプ事務局に関わっている保護者として、今後も連携していきたいと思う。 ・褒のわくおく学校終行の際に学校の意見として「教員の負担感は感じられなかった」と聞き、ほっとしている。今後も年度開始前後から教員の皆様とのコミュニケーションを大切にしたい。 ・今年度より、CSと先生方とのコミュニケーションが図られ、より良い学びの支援にCSが活躍できてると感じる。先生方が困ったとき に頼れるCSでありたい。
	の連携		学校の教育活動に関する分 かりやすい情報発信	4		4		・プライバシーに配慮しながら、今後も、教育活動の積極的な発信をしていきたい。	 ・九ちゃんプログの更新が多く学校での様子や取り組みを確認できるので非常にありがたい。 ・引き続きの発信をよろしくお願いたい。 ・九ちゃんプログの更新が多く、学校の様子がよくわかりおもしろい。